

成田市インターネット市政モニター アンケート集計・分析結果（第10回）

第10回のテーマは

「災害時の情報伝達についてのアンケート」でした。

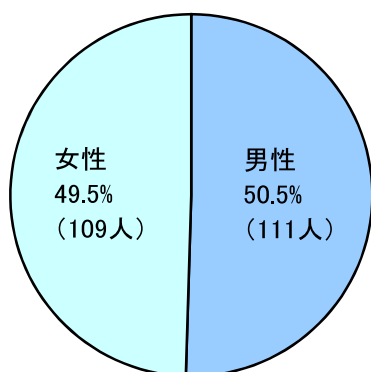
登録者数：277人

実施期間：平成26年10月8日（水）～10月17日（金）

回答者数（回答率）：210人（75.8%）

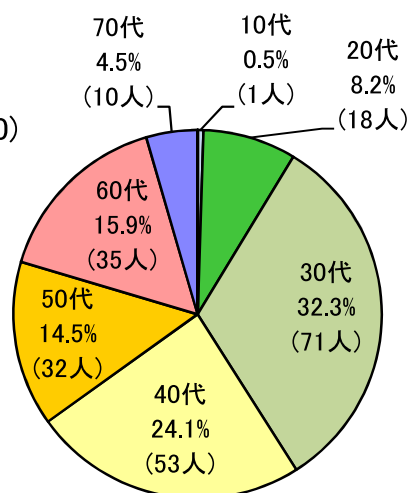
性別

(n=220)

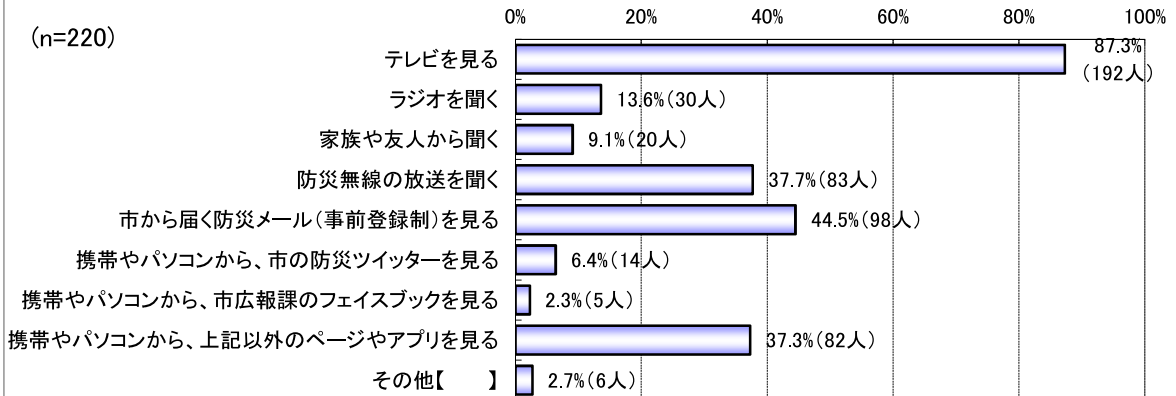


年代

(n=220)



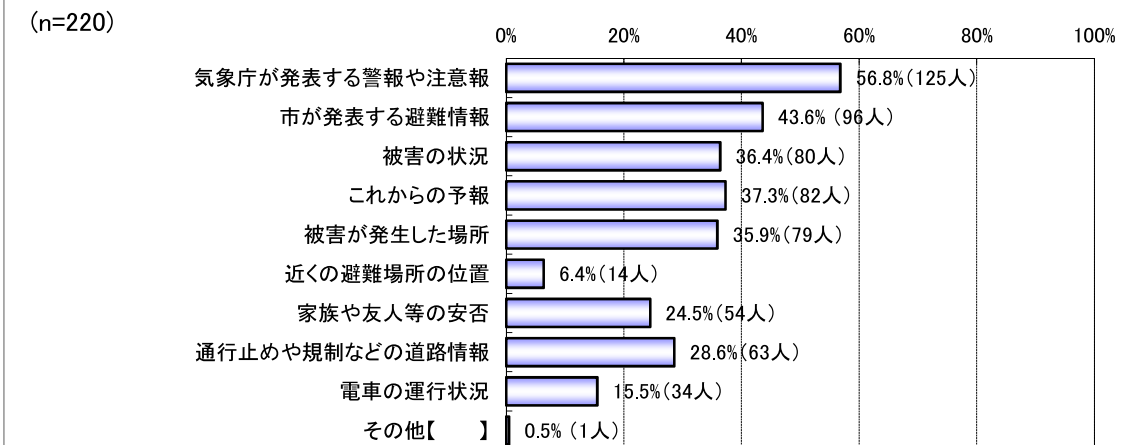
[Q1] 気象警報や、避難勧告等の災害・気象情報を、あなたはどのような方法で入手していますか。



(その他回答) ヤフーのアプリを見る／ネットの防災メールを見る／Jaf 及び県の防災メール／気象庁の HP／インターネットにて情報を得る／国土交通省「川の防災情報」で印旛沼の水位を見る／twitter

○アンケート回答者のうち、87.3%の方がテレビから情報を入手していることがわかりました。一方、SNSを利用した情報収集については、「市防災ツイッター」からは6.4%、「市広報課フェイスブック」からは2.3%と低いことがわかりました。

[Q2] 災害が起きたとき、すぐに確実に知りたい情報は次のうちどれですか。

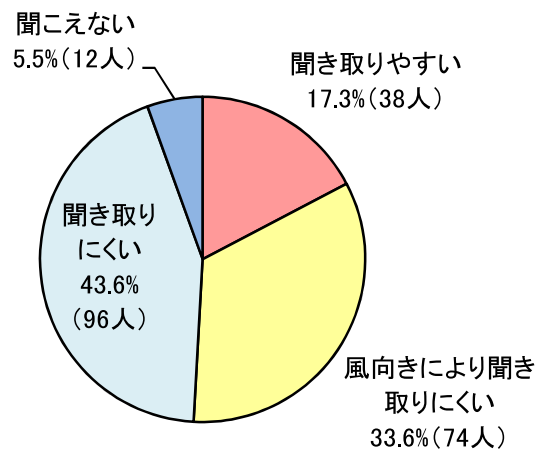


(その他回答) 設問の災害がどこで発生しているかにより異なる。身近な災害の場合市の情報が重要。

○「気象庁が発表する警報や注意報」、「市が発表する避難情報」を知りたいという方が多くいることがわかりました。また、「被害の状況」や「被害が発生した場所」、「通行止めや規制などの道路情報」など災害が発生した際の情報を知りたいという方も多くいることが伺えます。

[Q3]防災無線についてお伺いします。あなたが住む地域では、放送は聞き取りやすいですか。(単一選択)

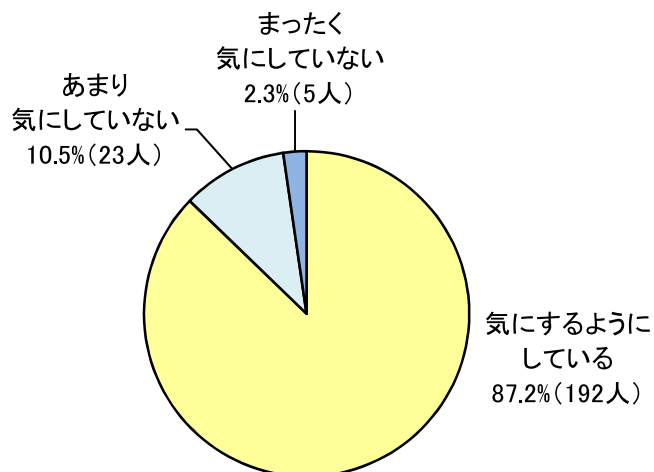
(n=220)



○ほとんどの方にとって防災無線放送が聞き取りにくいということがわかりました。防災無線を聞き逃した際の情報入手手段について検討していきたいと考えます。

[Q4]防災無線が放送された時、意識的に気にするようにしていますか。(単一選択)

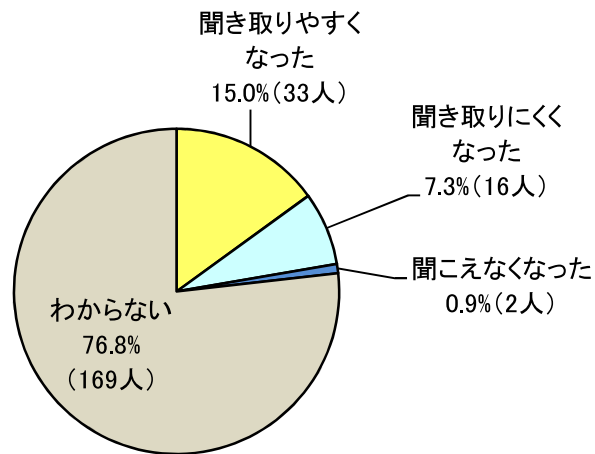
(n=220)



○87.2%の方が防災無線放送を気にしていることがわかりました。

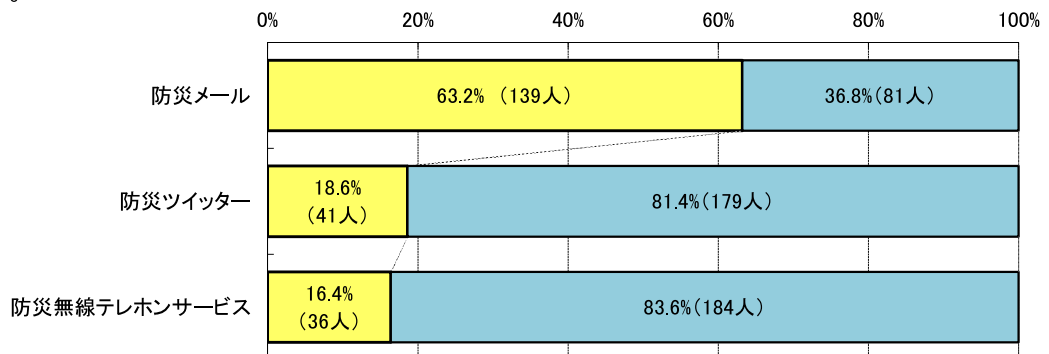
[Q5]平成23年ごろに防災無線をアナログ波からデジタル波に切り替えました。デジタル波にしたことにより、放送は聞き取りやすくなりましたか。(単一選択)

(n=220)



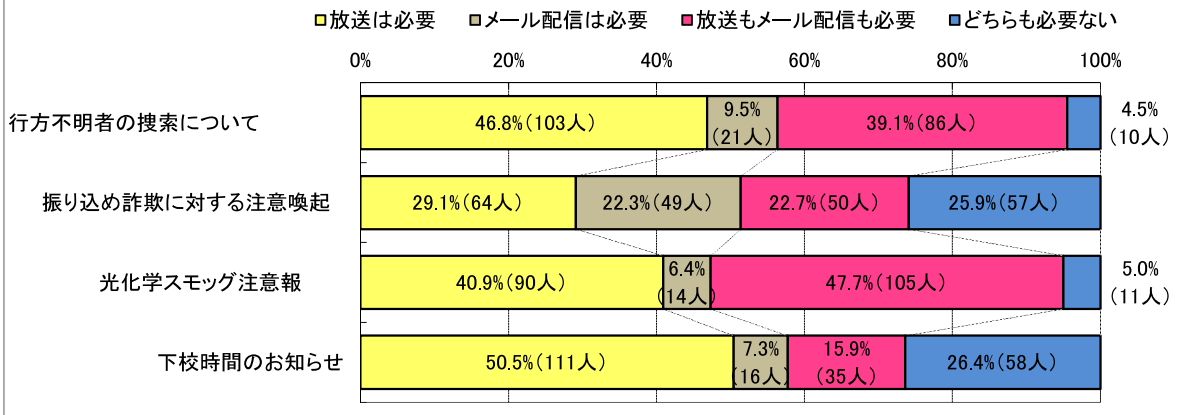
○76.8%の方が「わからない」と回答したため、アナログ波からデジタル波切り替えによる効果が表れていないことがわかりました。

[Q6]防災無線を聞き逃したときには、防災メール、防災ツイッター及び防災無線テレホンサービスで放送内容を確認することができます。これらのサービスを知っていますか。



○「防災メール」の認知度が63.2%と高いのですが、「防災ツイッター」18.6%、「防災無線テレホンサービス」16.4%と認知度が低いことがわかりました。「防災ツイッター」、「防災無線テレホンサービス」は認知度が低いため、周知方法について検討していきたいと考えます。

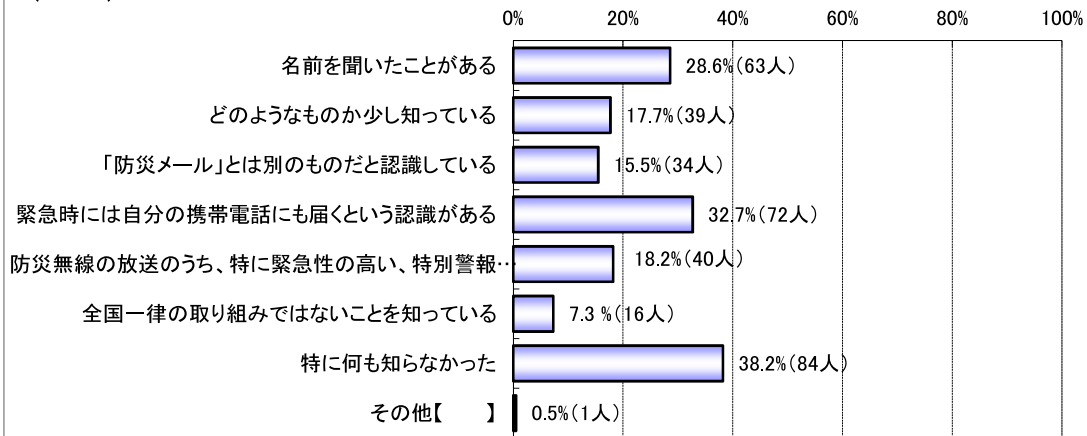
[Q7]防災無線は、災害時など緊急の放送をする目的で設置されていますが、多くの人に情報を伝えたい場合には、他の用途(行方不明者の捜索、振り込め詐欺、光化学スモッグ注意報、下校時間のお知らせ等)にも利用しています。防災以外の情報を放送することについてあなたはどのように思いますか。



○「行方不明者の捜索について」、「下校時間のお知らせ」は、放送は必要だと感じる方が最も多くいらっしゃいました。「光化学スモッグ注意報」は放送もメール配信も必要と感じる方が最も多く、放送内容について様々な意見があることが伺えます。

[Q8]緊急速報メールについてどの程度知っていますか。あてはまるものを選択してください。(複数選択可)

(n=220)

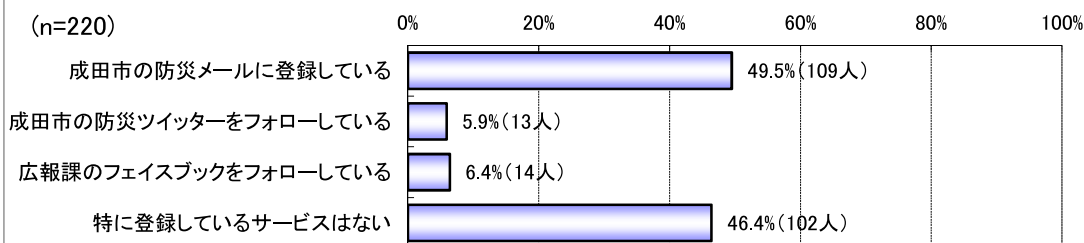


●緊急速報メールについて

成田市では、防災無線の内容を配信する登録制の「防災メール」とは別に、災害などの緊急時に特別警報や避難勧告を配信エリアに存在するすべての携帯電話に一斉送信するシステム「緊急速報メール」を導入しています。(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの携帯電話に、それぞれのネットワークを介して強制的に配信します。スマートフォンにも届きます。各自治体の取り組み状況により、導入していない市町村もあります。)

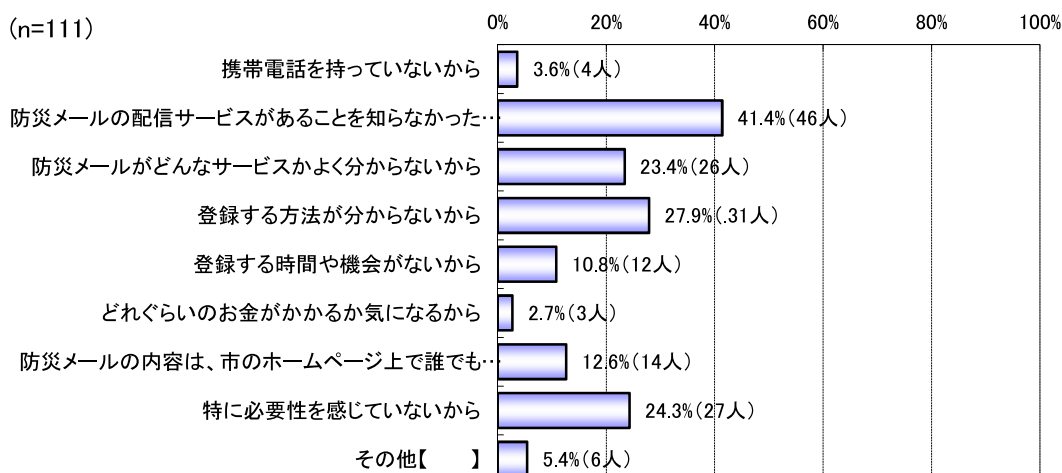
○緊急速報メールの認知度が著しく低いことがわかりました。今後、周知方法を検討していきたいと考えます。

[Q9]市が発信している情報は、登録等をする事で、情報伝達がスムーズになるものがあります。あなたが登録しているサービスを全て選択してください。(複数選択可)



○防災メールに登録している方が 49.5%であるのに対し、何も登録していない方も同じくらいいることがわかりました。情報発信サービスに登録していただけるよう工夫する必要があると感じました。

[Q10]防災メールに登録していない人にお伺いします。登録しない理由は何ですか。(複数選択可)

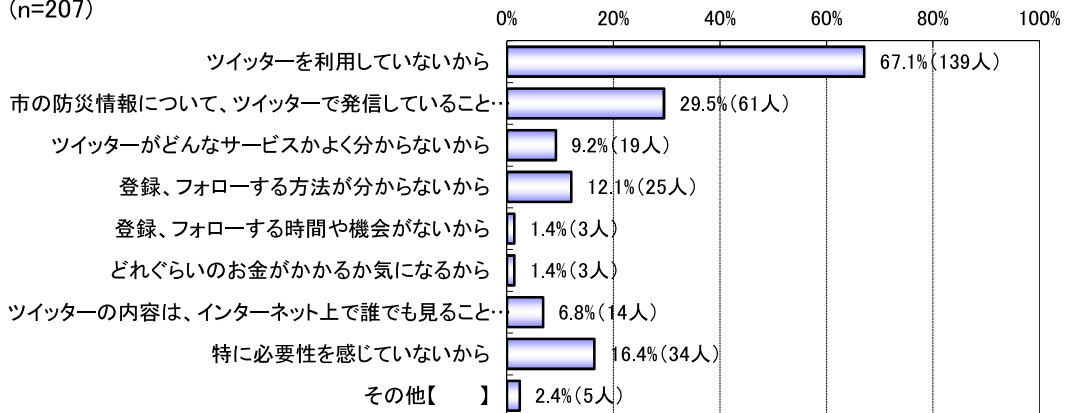


(その他回答) 以前に登録していた時に、配信が頻繁過ぎて嫌になったので/以前登録していたが、不審者情報など多く自分には必要ないと感じたから/このサービスを知らなかった/家族が登録しているから/面倒だから/夫の携帯電話に防災メールが入るため、私は登録しなかった

○「サービスを知らなかった」、「登録方法が分からない」と回答する方が多くいらっしゃいました。一方で、必要性を感じていない方も 24.3%と多くいらっしゃいました。今後、防災メールの普及啓発について検討していきます。

[Q11]防災ツイッターをフォローしていない人にお伺いします。フォローしない理由は何ですか。(複数選択可)

(n=207)

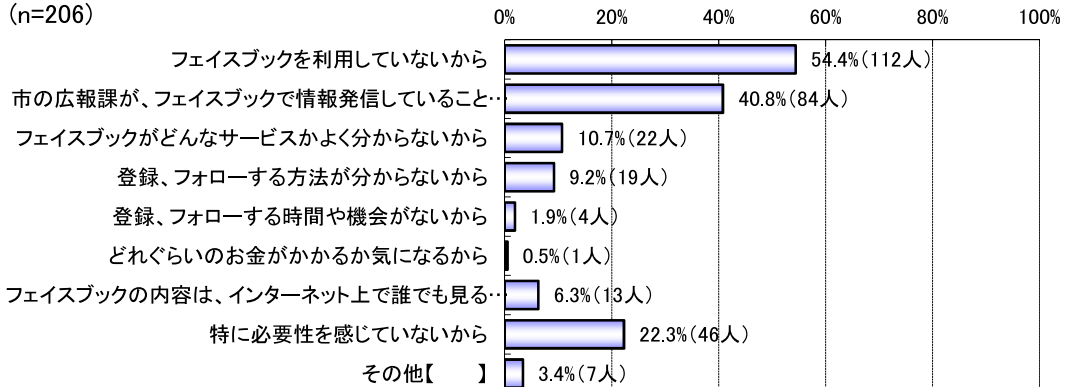


(その他回答) 匿名で Twitter をしているため、フォロワーさんたちに、成田市在住だと知られたくないから。／不特定多数の人が見られることに不安があるため／twitter 自体が嫌いだから／面倒だから／携帯に配信される防災情報で足りている

○普段からツイッターを利用していない方が多くいることがわかりました。

[Q12]広報課のフェイスブックをフォローしていない人にお伺いします。フォローしない理由は何ですか。(複数選択可)

(n=206)

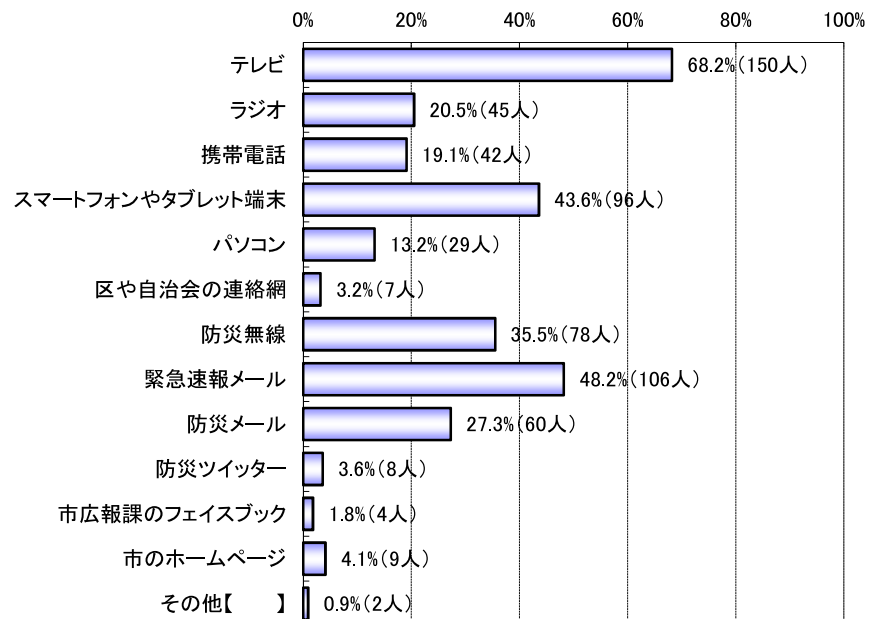


(その他回答) フェイスブックを利用しているが市の情報発信を知らない。／PC からのアクセスを前提とすれば、市のフェイスブック以外の情報の方が的確である／役に立たなさそう／個人情報が流れる恐れがあるため／面倒だから／以前フェイスブックに登録して懲りたから／登録者として表示されたりして成田市在住とわかるのが嫌だから

○普段からフェイスブックを利用していない方が多くいることがわかりました。また、市がフェイスブックから災害情報を発信していることを知らなかった方も 40.8%と多いため、普及啓発について検討していきます。

[Q13]情報化社会が進むなか、災害時の情報伝達に役立つと期待しているものほど
のようなものですか。あなたが期待しているものを3つ選択してください。

(n=220)



(その他回答) 情報を掲載しあうような災害情報アプリ／weather 会社の HP 及びメール
○「テレビ」に対する期待が高い一方で「緊急速報メール」、「スマートフォンやタブレット
端末」といった新たなツールに対する期待も高いことがわかりました。

[Q14] 災害時の情報伝達についてのご意見・ご要望をお書きください。(自由記述)

- ・若い人たちには、Twitter や Facebook は利用しやすいが、年配の方へは不向きだと思う。防災無線は、年配の方たちに聞こえにくそうだし、良い方法がほかにあれば良いと思う。
- ・市民は情報を常に受け身の姿勢でうけとります。私のようにネットやテレビ、ラジオなど複数の方法で情報を受信できる人はいいですが、一人暮らしの高齢者などへの対応に心配が残ります。また登下校中の児童も心配なので、しない全ての児童への IC タグ配布など、今後の画期的な方法に期待します。
- ・成田のサービスについて知らないことばかりだったので、勉強になりました。
- ・電気の遮断でテレビが見られなかったり、携帯の電波回線の混乱で情報収集が困難なときは自治体に頑張ってもらえないか。災害が予想されるときには緊急体制を整え、予備電気の確保などで放送を促すとか、緊急車両で廻るとか何らかの方法で情報を得たいと思う。
- ・避難場所までの移動方法(高齢者や身体不十分な場合)どうすればいいのか？連絡方法なども教えて欲しいです。
- ・メールにて具体的に何が起きているのか、教えてほしいです。
- ・防災無線放送は本当に聞き取れません、何とか工夫して内容が理解出来る様にしてもらいたいです。今のままだと放送は意味が無いです。

- ・私のような年配者は、使い慣れた携帯での災害メールを十分に活用したいと思います。
- ・防災無線は台風の時や、強風の時に聞きづらい。今回の台風18号の時も防災無線聞きづらかった！何の放送しているか分からなかった。音量を大きくして放送してほしい。
- ・地震などの突然の災害時にどの情報伝達網が一番早く正確にできるのか、検証してほしい。それにより、情報機器を準備したい。
- ・緊急メール等の受信費は無料の方がいいと思う。またツイッターやフェイスブックはスマートフォンやタブレット等もっていなければ利用できないわけで、誰もが平等に情報が行き渡る方法を考えてもらいたい。
- ・現在住んでいる地域が防災上、どのような地域になっているか。また過去にどのような地勢だったか知ることがまず必要なのかもしれない。
- ・緊急速報メールは先日の台風18号の際、千葉市のもを初体験しましたが、周りの人のスマホ、携帯が一斉に鳴って緊急地震速報と勘違いしました。注意を喚起するにはよかったですと思いますが、びっくりしました。平常時での広報をよろしく願います。
- ・防災無線を活用して頂くことが、ベストだと思うがほとんど、聞き取れないので意味がないと思う(特に風向きによる)
- ・災害が起こったときはテレビをつけて確認するがテレビがつかなかった場合は市の防災無線などの情報が必要だと思う。今後は市の防災メールも登録しようかなと思う。
- ・デパートやスーパーなど出先にいるとテレビやラジオを聞ける状況にないので、市とお店が連携して館内放送してもらえたら、外の状況が分かるかも知れません。
- ・市民広報の緊急伝達は(年配者、子どもも含め)だれでもが直感的に理解、判断できる無線放送が一番よいのでは。そのためには場所によっては風向きによって放送内容が聞取りにくくなる点をもっと解消してほしい、あるいは、各家庭に一台緊急放送専用ラジオでも配布してもらえればよいのですが。
- ・どの地域に避難勧告がでているのか、もっと分かりやすく知らせてほしいです。
- ・台風の時など雨・風が強いと市からの防災放送がチャイムが辛うじて聞き取れるくらいで、内容が全く聞き取れない時があります。音量を大きくしたり、判断が難しいかもしれませんが、雨・風が強くなる少し前に放送してもらえると助かります。
- ・防災無線の放送が聞き取りにくいことがある。(途切れ途切れになる)改善してほしい。
- ・火事の通報で誤報が多いようにかんじますが、イタズラなのでしょうか。
- ・情報量が多いだけでは戸惑うだけの場合もあり、両刃の剣と思料します。行政としては、今後も「より正確でブレない情報を一刻も早く展開する」事に引き続き注力頂きたいものです。
- ・便利な情報媒体が発達しても、最後は、人的な情報伝達の手段がどれだけ充実しているかということにかかってくると思う。地域のコミュニケーション組織作りに知恵を出してほしい。
- ・成田市内の情報(予想、被害程度、詳細場所など)を充実してほしい。
- ・お年寄りだけの家庭への情報を充実させてほしい。
- ・災害放送は 必要性を実感するが 風雨の音で聞き取りにくくなっている メール通信は確実に連絡を受けることができ 非常に重要な役割を果たしている。

・災害時には情報がすべてなので、Web での情報発信はもちろんのこと、防災無線やラジオなど誰もが得やすい電波媒体による情報発信の方が効果があると思う。

・放送だとリアルタイムでしかわからないので、目で確認できたり、後で確認できるような伝達方法がいいと思う。

・成田市からはより地域に密着した速い情報を望みます。

・防災無線が聞こえづらいので、町内会長、自主防災会長宅等の希望する家庭に端末を配布して欲しい。

・今まで利用していなかったけど、これから利用したいと思うので、細かいと思われることまで伝達してほしいです。

・災害時の情報伝達は出来るだけ誰にでも伝わるようにしてもらいたい。

・仕事中は、会社で情報収集ができるが、出先では、メールやネットで情報を収集しているのが、現状です。車の中では、ラジオより、テレビをみる。ラジオは、停電や、通信手段がない時しか、利用していない。

・防災無線はゆっくり、間をおいて！早口ではこだまして聞き取れない。

・防災無線で聞き逃しても、防災メールで確認できるのでべんりです。夕方なるチャイムは、季節によって違いますが、一年中5時にしてほしいです。子供が、チャイムを目安に帰ってくるので。夏の6時は、明るいけど危ない。

・防災無線で「下校時の…」を聞き、正常に放送されていることが確認できる。この放送も事柄によっては全市一律でなく、各地区毎(例えばニュータウン地区・遠山地区などのように)、きめ細かくできたら良いと思います。(既にやっているのなら私の認識不足です) 私の居住地では自治会で「自主防災組織」を作り、11月に最初の訓練を予定しています。災害が発生し、消防などの救助が来るまでは隣近所の支援が重要と考えます。「個人情報」の問題もあり、隣近所の状況も昔と違って分かりづらいのですが、万が一の災害時を考え準備することが必要でしょう。

・近所の避難場所一覧を知りたいです。

・非常時の取るべき行動についての実際の経験談を広く知らしめる努力が必要。国の担当省庁でも未整備である。

難しいが頑張ってほしい。

・今回のアンケートはすべて受身の質問でした。下記に記載した様な知りたい事の窓口があるなら、又災害におちいった時知りたい事もあるでしょうから、窓口があるのか無いのかも、質問コーナーがあればよかった。欲しかったのは、各自治体の連絡網とか避難所への情報や緊急時の連絡網。成田市は大変恵まれていると思うが、家族友人の安否確認の方法があるのか無いのか。あるなら何処でそのサービスが受けれるのか。甘えに為ってしまうかも知れないが、各家庭で最低限の緊急用品の保存等の情報もあるなら知りたい。地図と避難所と緊急時の連絡網等を記載した成田市の防災情報マップを物を作成してもらえたらよろしいかと思います。それと被害が起きた地域へ、ボランティア活動に参加するには何処へ行けばよいのかも、全方位の防災対策としてのマップが必要かと思う。

・インターネット化するのも良いが、東日本大震災時の様に停電してしまったり、携帯回線がパンクしてしまい何の役にも立たなかった。結局災害時に役に立ったのは、電池式のラジオだった。無駄に先端技術に酔いしれ、投資するのは単なる役所の自己満足。広報車や防災無線で巡回や何度も放送するのが一番幅広い世代に周知できる方法だと思った。結局非常時はアナログな手段が初期段階では有効だと思う。

・我が家は窪地なので、防災無線が、何か言ってるのはわかるのですが、詳細は聞こえずに逆に怖い。その度にスマホ等でチェックするのも時間がないし、放送自体の精度を、もう少しどうにかする事はできないのでしょうか。

- ・大雨の場合防災無線が聞こえないので、老人にも分かるようにサイレン(色々な鳴り方で区別する)等で知らせるのはどうでしょうか？広島市の様に夜中から早朝の災害の時は、避難すること自体が危険なのでそのへんの見極めを考える必要があると思います。
- ・防災無線は聞き取りにくい。台風の日に雨戸をしめると、ほとんど聞こえません。振り込め詐欺の注意喚起は、他にも犯罪はたくさんあるのに、なぜ振り込み詐欺だけなのか疑問に思います。
- ・市からの情報はとても重要だと思います。防災無線は情報が迅速で絶対聞こえています。窓を開けて静かにしても聞き取れない時が多いです。東金市などは室内でも聞こえる機械があるようです？希望者だけでもあいう物があればいいと思いますが？
- ・成田ケーブル TV に加入しているが、地元ならではの状況や映像、交通機関などライブで詳しく教えてほしい。今までの、簡素化すぎて、情報伝達としては、足りない。
- ・これからも『なくてはならない』情報伝達を宜しくお願いします。
- ・災害時は、防災無線が必要と思われるので、もう少し良く聞こえるようにしてほしいです。
- ・情報網の下りは良く議論されるが上り(収集)については土の様になっているか？住民からの状況アップデートのアプリ等の活用を提案します。
- ・災害時に成田市のホームページを見れば良いことを失念していました。これからは見ていきたいと思います。
- ・防災メールの送信が遅い。20分以上遅れて受信している
- ・市の広報車が時々行方不明の人や災害時の情報を放送しているのに気づくことも最近は多くなった。先ほどの質問のアナログから・・・切り替えた成果。ただ、気をつけないと気づかないことも多く窓を開けたり外に出たりしないとわからないこともある。
- ・気象庁が一番信頼がおけるが、市役所もしっかり情報を届けてもらいたいものです。今年の2月の大雪の防災無線は最悪最低であった。消防出初式の案内より、雪の情報の方が大切である。
- ・防災放送をもっとききやすくしてほしい。
- ・市のHP やフェイスブックだけでなく、例えば、Yahoo!等と提携して、HP 上にその地域の情報が出るようにしてほしい。
- ・メールなどを頻回に受け取ると「またか・・・」と思い、メールを見ることもしなくなる。 本当に必要な時だけ知らせて欲しい。
- ・あっても知らない住民が多くては意味がない。知ってもらう 手段をもっと大々的に周知するべき。
- ・緊急の防災無線がきけるラジオを格安で各家庭に配備してほしい
- ・今回初めて防災メールなどの存在を知りました。登録したいと思います。
- ・災害時の情報伝達が心配されるのは特に高齢者です。若者は行政からの情報がなくても、IT を駆使して仲間から情報をすぐ取れと思いますが、高齢者は知り合いなどからの情報取得も限られ、IT 情報とは日ごろから縁が薄く、災害に合うリスクは若者より高いと思います。行政としてはここに力を入れた対策をお願いしたい。
- ・防災無線を聞いたことがありません。
- ・後手にならないように、迅速で正確な情報の発信をお願い致します。

- ・随時放送される防災メールなどとても細やかで親切だなと感じております。
- ・緊急速報と、防災メールは一つにまとまらないのですか？Twitterなど、登録していないし、あれはやっているひとは多いけれど、任意だし。緊急速報は、携帯を持っていれば勝手にはいるから、便利。防災もそうなってほしい。
- ・防災放送が聞き取りにくいのを改善して欲しい
- ・防災無線が時々流れていますが、全く聞き取りづらく、ほとんどの人が同じことを言っています。非常時には役にたたないのではないですか？逃げ遅れて死者がでることもあります。要改善！
- ・情報に気がつかない事があるので、確実に伝達できる方法があればと思います。
- ・様々な情報入手ツールがあるので防災無線は時代にそぐわないと思う
- ・防災メールの到着が遅すぎる。通常の防災メールでも同一キャリアの同居家族よりも10～15分遅れてくる。5日から6日の台風時には警報等のメールが発信時刻よりも1時間から1時間半くらい遅れて着いた。緊急時にこれだけ遅れることは防災メールの意味をなさないのではないのでしょうか？防災メールの性質上、発信するだけでなく到着までのフォローをお願いします。
- ・成田ケーブルテレビを活用し、タイムリーな情報提供を画像・映像つきでお願いしたい。
- ・放送をもっと聞き取りやすくして欲しいです。
- ・先日の台風時テレビで成田市は避難準備が出ている事をテレビで知りました。この時成田の情報伝達はどのようになっているか？疑問に思った。情報伝達システムをまず周知徹底させることが必要だと思います。伊豆大島は市長が出張中で避難勧告を出さなかった。成田市では市長が出張等でいない場合の誰が避難勧告等を発令するのか明確な規定はあるのか？
- ・いろいろ伝達の手段を採られているようですが、そのような手段があるのを知らなかった。そのような手段を容易に利用することのできる方法を教えてください。
- ・防災無線だけは、いち早く流して頂きたいです。メールなどは登録しないと届かないものなので、一番頼りになると思います。簡潔に繰り返しお願いします。
- ・防災無線は聞こえるのですがエコーのようになっており、何を言っているのか判らないのでいざというときには役に立たないと思うので改善してほしい
- ・今回の台風18号では、市のfacebookをフォローすることによって有益な情報を得ることができました。今後も続けてほしいと思いますし、さまざまなSNSで情報を共有できると良いと思います。
- ・電源供給が無くなっても何とかするのはラジオだと思います
- ・市民への周知徹底。パンフレットなどの配布。市政だよりに添付したり、又は、市政だより(回覧板)が回ってこない方々には、駅や市民の目の届く場所に掲示する。という事も良いことではないかと思います。
- ・自分で意識しないと情報は素通りしてしまう。一度、よく調べて生活に無理がなく正確な情報を得られるように設定したいです。
- ・児童の下校時への見守りは大事ですが、メールへの配信は不要と思われます。但しスピーカーを通して街全体に注意を流すのは、予防の意味からもぜひ継続してほしい。
- ・災害時は、どこで何が必要かをお互いに把握するために、双方向でのやりとりができることが重要だと思います。

- ・まだ登録していなかったので、早速、防災メールを登録しようと思います。
- ・身近にいる区長や消防団員などからの連絡がほしいです。
- ・今のままで良いと思います。
- ・防災無線の整備にお金をかけるなら携帯や SNS に力を入れてほしい。防災無線のフリーダイヤルもメールやツイッターで確認できるので有料にした方がいい。お金の無駄使いだと思えます。
- ・ツイッター、フェイスブック・・・流行り物はいずれ廃れる。
- ・正確な情報をいち早くが基本
- ・先の地震の時は Twitter の有効性を感じました。市で Twitter を使っているのでしたら、もっと推し進めていくとよいと思いました。
- ・防災無線が聞き取りにくく、いざという時困るのではと不安です。至急改善していただきたいと思えます。
- ・防災成田のアナウンスがほとんど聞こえないのできちんと聞こえるようにしてほしい
- ・とてもわかりやすい案内いつもありがとうございます。お年寄りの徘徊、子供の誘拐、振り込め詐欺など子供やお年寄りがいない我が家も協力する意識が高まります。これからも発信願います
- ・市の FB で災害時の情報伝達をしているのは知らなかった。知らない人の方が多いのでは。。。携帯の防災登録をしようと思う。
- ・常に自宅にいるとは限らないのでやはり携帯・スマホに送られる緊急メールがいいと思えます。留守がちなので閲覧板には抵抗があります。
- ・防災アナウンスしか知らなかった。
- ・広域の防災放送、反響して聞き取りにくい事があります。室内にいる場合も同様。情報の伝達は、いくつかを併用する方が良いと思えます。
- ・3.11 の震災を思い出すと携帯が繋がりにくい状況になったのでやはり防災無線が一番の情報伝達になると思う。逐一新しい情報を流して欲しいが場所によっては窓を開けても聞き取れない家もあるようなので市内全戸、市内どこにいても同じ情報が平等に聞こえるような取り組みをして欲しい。最近台風などのとき 24 時近くに無線が鳴ることもあるが、緊急時は 24 時間いつでも鳴らすべきだと思う。
- ・IT(インターネット)を活用し、市からの発信力を発展させていくことは良いと思えます。我が家では防災無線の放送が聞き取りづらく、ほとんど内容が解りません。防災メールの受信登録をパソコンではしていますが、携帯電話は通信料がかかるため登録せず、リアルに情報を知ることが困難です。高齢者の住宅には家庭用受信機をお配りしているかもしれませんが、同等の情報伝達手段として、例えばAMラジオのNHKの隣の周波数で聞けるようにするなど、検討して頂けないでしょうか？行方不明者の情報は、必須と考えています。下校時間の連絡は、このご時世ですから必要だと思えます。
- ・いかに IT 情報化社会が進もうとも、受け手にその気がない、ツールを持っていないなどのケースがある。その点、防災無線放送はインパクトがあり、アナログだが有効だと思う。(うるさいと感じる人は論外だが・・・)
- ・昨年の台風時に、イオン付近・51 号ロイヤルホスト付近の冠水・幸町信号付近の土砂崩れ等により、出勤に大変な思いをした記憶があります。道路状況等把握できると、少しでも不安感が和らぐのではないかと思います。今回のアンケートで、市からメール配信を行って入ることを知ったので登録し、次回に備えたいと思えます。

・防災無線情報メールに登録しており配信情報は非常に役に立っています。しかし誤報の件数が非常に多いことが残念です。市民の生命・財産・安全に関する重要な情報提供としては緊張感に欠け情報発信者として無責任な印象を感じます。(特に安全を常に意識する空港勤務者として)原因の究明・改善に努めて頂ければと思います。また防災無線は自宅では内容が聞き取り難くあまり役に立っていません。悪天候の際などにも情報が受け取れる体制にして頂ければと思います。

・防災無線の音の伝わり方については、音の伝搬距離、気象条件によって異なり大きく聞こえる時と小さく聞こえる時があり音を正確に確実に伝えるためには万能の手段では無いと思う。広く注意喚起し、不特定多数の人に伝えるためには、良い手段だと思う。台風の時など防災無線の情報を聞いて、市のホームページを見ることがあるため、情報を得ようとする行動のきっかけには良いと思う。また、屋外で活動している人にとっては大変有効な手段だと思う。防災無線の音の伝搬については、日本音響学会で度々、論文発表があり研究が行われていたと思う。音の専門家に相談するのが良いと思う。 今年の台風により成毛地区における土砂崩れで、一名が亡くなられた。今年の台風の時、事前の情報が無かった(記憶に無かった?)と思う。 災害発生前の事前情報の提供を、確実に伝えることを市にはお願いしたい。

・スピーカーによる緊急案内?も風雨が激しいと、聞こえづらかったりすることが多々ある。

・情報を手に入れることが簡単になった一方で、過疎地やお年寄りの情報入手することが逆に困難になっているような気がします。やはりこまめな近隣への手伝っていただける人材を増やし、お年寄りや一人で住まわれている方との連絡を密にする方法をたくさん考えていけなないと思います。連絡を取る手段は多ければ多いほどいいと思いますし、若い人たちと常に関わっていける場所を市または地域が提供するべきだと思います。

・街中から離れた場所は有線放送の方が防災放送が聞き取れると思う。住宅が密集していないので放送が遠い。

・携帯ラジオの利用について、地域情報を知る為の、専用周波数の設立は可能ですか、出来るなら、その予算はどのぐらいですか(費用 対 効果を考える為)、それとも すでにこのような SYSTEM はあるのでしょうか?

～担当課～

成田市インターネット市政モニターの皆さん、アンケートにお答えいただきましてありがとうございました。今回のアンケートを通じて災害時の情報伝達のツールはたくさんあるものの、認知度が低いことがわかりました。今後は、区や自治会の防災訓練を通じて、皆さんに知ってもらえるよう広報活動に力をいれていきたいと考えます。